

は、その間の管理経費見込額から、収
入見込額を差し引いて積算した。な
お、実際の補填は、9月までの実績を
精査して、10月以降に支出したい。

今後の対応は、新型コロナウイルスの状況や
利用者数の動向等を踏まえ、全庁的な
方針のもと判断することとなるため、
各施設の状況を把握しながら、引き続
き関係部局と情報共有していきたい。

委員間の協議

収支補填の経緯と補填額の根拠を具
体的に確認でき、補填は、指定管理者
を助けるためにも、非常に重要である。
などの理由で、賛成だが、

各施設では、感染拡大防止対策に取
り組みながら、少しでも利用者数等を
回復できるように施設運営を行ってほしい。

上期が繁忙期であり、年間の利用者
数の多くをこの時期に見込んでいた観
光施設等では、今後一年間を総体的に
見た救済策も検討する必要があると思っ
との意見あり。

経済建設分科会

決算7件・議案7件を審査

主な論点・疑問点等

**決算第1号 令和元年度函館市一般会
計決算**（経済建設分科会関係部分）

魚種転換支援事業費

- ・ 事業実績
- ・ 事業の成果と効果

ワイン用ぶどう栽培支援事業費補助金

- ・ 補助金の執行状況
- ・ 事業の効果

主な理事者の説明

魚種転換支援事業費

昨年度は製造機械等の導入等に8件

の補助金を交付し、事業者からは新商
品を製造し、新たな販路獲得につなご
つた等の報告を受け、順調に販路を広げ
ている事業者が多いと認識している。

市としても、今後も制度を継続する
と同時に、新商品の販路開拓なども支
援することでイカ加工業者の経営の安
定化を図ってまいりたいと考えている。

ワイン用ぶどう栽培支援事業費補助金

当該補助金は、本市管内でワイン用
ぶどうを栽培し、それを原料にワイン
を醸造する者などの初期投資の負担を
軽減することでワイナリーの誘致や起
業を促進させ、農地利用の最適化、本
市の食の魅力度の向上による観光振興
や雇用の創出などにつながることを目
的に、有害鳥獣による被害等の防止の
ための施設等の整備を対象として、電
気柵設備購入費の2分の1を補助した。

電気柵の設置後は、ぶどう苗の被害
が無く、農地内での足跡や糞などの痕
跡も見当たらず、一定の効果が得られ
たと考えている。

委員間の協議

魚種転換支援事業費

イカ加工業者の経営安定のためにリ
スクを分散する観点から行った事業と
して理解できる。

ワイン用ぶどう栽培支援事業費補助金

函館でのワイン醸造は始まったばかり
であるが、ワイン造りのビジョンも
作成したいとのことであり、函館の名
産が1つ増えるということを期待したい。
などの理由で、認定することに賛成。

主な論点・疑問点等

議案第1号 令和2年度函館市一般会計

補正予算（経済建設分科会関係部分）
**○はこだてクリスマスファンタジー開
催負担金増**

- ・ 1千万円増額の算出根拠
- ・ 増額理由および増額による効果

主な理事者の説明

今年度は新型コロナウイルスの感染要因とな
る来場者の密集を回避するため、中止
するスーパバーの販売とステージイベ
ントの使用に係る収入の減少や協賛金
などの減収が見込まれ、イベント費や
会場設営費などの支出経費の削減に努
めても1千万円の収支不足が見込まれる。

当該イベントは冬季の観光誘客に果
たす役割が大きく、地域経済への効果
も大きいことから、地域経済回復の
きっかけにするためにも、新型コロナ
対策に配慮しながら、開催したいと考
えている。

委員間の協議

積算の根拠や増額による効果は理解
した。冬期間の観光客が減少する時
に、落ち込みを抑える事ができる貴重
なイベントであることから、今後、新
型コロナやインフルエンザなどの感染
拡大の防止策をしっかりとやっていた
きたい。
などの理由で賛成。

民生分科会

決算7件・議案5件を審査

主な論点・疑問点等

**決算第1号 令和元年度函館市一般会
計決算**（民生分科会関係部分）

多世代交流施設運営費補助金

- ・ コンテ日吉についてのこれまでの
経過と支出の妥当性

主な理事者の説明

コンテ日吉は、日吉町4丁目の市営
住宅跡地を地域包括ケアシステムのモ
デル的なエリアとして開発することを
目的に、特別養護老人ホームをはじめ
とする各種施設を、民間の力を活用し
て、整備を進めてきた。

これまで、事業推進の中核を担う法
人の理事長の突然の辞任やオープン間
もない施設の一部が休止されるなどの
状況もあったが、多世代交流施設の運
営、商業施設の開業や住宅の分譲はほ
ぼ順調に進んでいる。

補助金は多世代交流施設の運営に係
る人件費を補助対象経費とし、当該経
費の2分の1、上限額を5百万円とし
ており、決算額は職員3名分の人件費
に対し5百万円の支出となっている。
今後とも、誰もが生涯にわたって活
躍し、地域福祉が実践されるまちづく
りを目指すといった所期の目的が達成
できるよう努めていく。

委員間の協議

この事業は数年にわたって継続され
ており、その事業が妥当だということ
から補助金が支出されているというこ
とで了解した。
などの理由で、認定することに賛成。

主な論点・疑問点等

**議案第4号 令和2年度函館市病院事
業会計補正予算**

救命救急センター感染症外来整備事業費

- ・ 具体的な整備内容について
- ・ 実際の運用について

主な理事者の説明

今回の整備は、新型コロナウイルス対策に関